

海外派遣留学生  
留学報告書

学部学科:	文学部歴史学科 西洋史専攻		学年(※留学時):	3年
留学先:	国:	ドイツ	大学/機関:	フンボルト大学
期間:	2024年2月23日 ~ 2024年3月24日			
	短期		計 1ヶ月	

[1] 参加した語学コースの時間数/科目名(受講科目・複数可)

- ・授業時間数:19
- ・科目名:ドイツ語

時間	月	火	水	木	金	土	日
9時~12時半	○		○	○	○	Free	Free
9時~13時15分		○					

[2] 授業内容について教えてください。

(クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等)

クラスはこの東海大学のプログラムに参加した生徒のみで、計7人。日本人のみ。  
担当の先生はドイツ人。『Das Leben』という教材を使って、生徒参加型の授業方法。  
1人1回プレゼンテーションも行なった。2人1組で何かを行うことが多かった。

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

課外活動では、レストランに行って授業で習った注文のフレーズを実際に使ったり、ベルリン市内を散策したり、博物館に行ったりした。  
余暇は、旅行に行ったり、フンボルト大学で日本語を習っている生徒達と交流した。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)  
マーケット、駅

[5] 宿舎(寮やホームステイ)での生活について教えてください。

部屋:1部屋 2人で使用

様子:キッチン、バスルーム、お手洗い、居間は共同だが、個別に1人部屋があった。部屋干しは禁止。洗濯機と乾燥機は有料で、管理人室に行き予約する必要がある。1週間に1回掃除が入る。

海外派遣留学生  
留学報告書

[6] 留学中に楽しかったこと、苦勞したことを教えてください。

● 楽しかったこと:

ドイツ語の授業は、先生が様々な方法で私たちにドイツ語を理解させようと頑張ってくれていて、それが非常に有り難かったうえ、内容が分かりやすく、楽しかった。  
フンボルト大学で日本語を習っている生徒たちとの交流も楽しかった。彼らが留学期間中電車の乗り方や水の種類についてなど、様々なことを教えてくれたり、手伝ってくれた。博物館やブランデンブルク門、戦勝記念塔など、ベルリンの観光地を巡るのも楽しかった。

● 苦勞したこと:

洗濯機を使用するにあたり、予約や待ち時間によって行動が制限されたことが、予定を立てるにあたって苦勞した。

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上:

留学前より話せるようになったし、読めるようになった。日常生活に支障はなかった。

2) 専門知識の向上:

近代史の知識が多く蓄えられた。しかし、自分は古代史なので、そこまで実りがあったわけではないが、旧博物館に古代ギリシャ・古代ローマの資料があったため、そこで専門知識の勉強ができた。

3) 自己成長など

生活力が上がった。日本以外の国に住んでみたことで自分の視野が広がった。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

留学前は不安なことも多いと思いますが、行って損することはありません。現地の方と沢山交流して、沢山外に出て、実りある留学期間にしてください。

海外派遣留学生  
留学報告書

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額(当時の日本円)
渡航費(旅行会社に支払った経費)	495,550 円
授業料以外の諸経費(教材費・課外活動・保険料等)	136,988 円
私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)	85,112 円
現地からの奨学金がある場合	
お土産代や個人的な買い物	43,136 円
その他( )	
留学に関する費用の総額	760,796 円

